

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成30年4月12日 (2018.4.12)

【公開番号】特開2016-77553(P2016-77553A)
 【公開日】平成28年5月16日 (2016.5.16)
 【年通号数】公開・登録公報2016-029
 【出願番号】特願2014-212180(P2014-212180)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年2月23日 (2018.2.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
可変表示に関する情報を保留記憶として記憶する保留記憶手段と、
前記保留記憶に対応する保留表示を行う保留表示手段と
 前記保留表示の態様を変化させるための複数種類の保留変化演出のいずれかを実行する
 保留変化演出実行手段とを備え、
 前記保留変化演出実行手段は、前記複数種類の保留変化演出のうちの保留変化演出を
 実行した後、少なくとも前記一の保留変化演出の実行対象である保留表示の表示中に新た
に保留変化演出を実行する場合に、前記一の保留変化演出を実行したときとは異なる割合
でいずれかの保留変化演出を実行する
 ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

(1) 本発明による遊技機は、可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態(例えば、大当り遊技状態)に制御可能な遊技機であって、可変表示に関する情報を保留記憶として記憶する保留記憶手段と、(例えば、第1保留記憶バッファ、第2保留記憶バッファ)と、前記保留記憶に対応する保留表示を行う保留表示手段(例えば、第1保留記憶表示部18c、第2保留記憶表示部18d)と、保留表示の態様を変化させるための複数種類の保留変化演出(例えば、「保留球変化」、「図柄変化予告」、「看板予告」の演出)のいずれかを実行する保留変化演出実行手段(例えば、演出制御用マイクロコンピュータ100において、ステップS819, S822, S831とS872の処理を実行する部分)とを備え、保留変化演出実行手段は、複数種類の保留変化演出のうちの保留変化演出(例えば、「図柄変化予告」、「看板予告」の演出)を実行した後、少なくとも前記一の保留変化演出の実行対象である保留表示の表示中に新たに保留変化演出を実行する場合に、
一の保留変化演出を実行したときとは異なる割合でいずれかの保留変化演出を実行する(

図 3 1 におけるステップ S 6 0 0 6 ~ S 6 0 1 0 および図 3 3 参照) ことを特徴とする。
そのような構成によれば、同じ演出が連続して発生する可能性が低下するので、遊技の
興趣をより向上させることができる。